

麻酔科専門研修プログラム

We Deliver The Best



 飯塚病院

innovate and evolve

はじめに

麻酔科専門医、そして飯塚病院の麻酔科専門研修プログラムに興味をもっていただきまことにありがとうございます。

本プログラム冊子は飯塚病院が理想とする麻酔科専門医とその専門医を目指すにあたって、当院が準備している研修内容を少しでもわかりやすくお伝えしたいと思い作成いたしました。

プログラム冊子をご覧頂き、当院についてさらに知りたいと思ったら、まずは当院に見学に来ていただけますと幸いです。

皆様からのご連絡お待ちしております。

目次

はじめに.....	1
麻酔科専門医の使命	3
飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念.....	3
プログラムの概要と特徴	3
研修施設群の概要と指導医	6
麻酔科専門研修の経験目標および研修方法.....	10
多職種による専攻医評価	10
専攻医の評価・修了判定について.....	11
専門研修管理委員会の運営計画	11
地域医療への対応.....	11
専門研修の休止・中断, 研修プログラムの移動	13
定員と研修期間について	13

麻酔科専門医の使命

麻酔科専門医は国民が安心して手術を受けられるように手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムを通じて、日本麻酔科学会の専門医育成ガイドラインに準拠して運営する。加えて、ACGME (Accreditation Council for Graduate Medical Education) が提唱する 6 competencies に準拠した評価も行い、地域診療のみならずグローバルな視野を持つ麻酔専門医の育成を行う。

プログラムの概要と特徴

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムでは皆さんが麻酔科専門医取得後のキャリアをイメージし研修を実施できるように 4 つのコースを準備しています。

基本コース

- ・飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得を目指す。

心臓血管麻酔専門医養成コース

- ・2年目以降心臓血管麻酔専門医認定施設である当院や連携施設で研修を実施していく。

集中治療専門医養成コース

- ・Closedな集中治療管理を実施している集中治療専門研修施設を中心とした研修を実施していく。

ペインクリニック専門医養成コース

- ・本プログラムで研修しつつ、ペインクリニック専門医申請資格を満たしていく。

①基本コース

<研修の内容・特徴>

- 飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得していただき、麻酔科専門医を目指します。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科※											
3年	飯塚病院 麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	飯塚病院 麻酔科											

- ※原則、他院で初期研修中の方は1年次の4週間は救急部ローテーション
- ※麻酔科医は手術中の全身管理を行う必要があり、幅広い知識が必要となるため、希望者は院内診療科での研修が可能です。

②心臓血管麻酔専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- 心臓血管麻酔専門医が4名在籍しており、心臓血管麻酔専門医を取得する上での指導が可能。
- 2019年度より心臓血管麻酔専門医認定施設に認定されるため、当院で経験した症例を心臓血管麻酔専門医認定申請の際に経験症例として届出が可能。(心臓血管麻酔経験症例として心臓血管麻酔専門医認定施設で30症例以上の経験が必要)
- 専攻医2年次には心臓血管麻酔専門医申請資格である『JB-POT』認定試験に合格できる力量が身につくように指導いたします。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科※ 専攻医2年次に『JB-POT』認定試験の受験を目指していただけます。											
3年	飯塚病院 麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	聖マリア病院						飯塚病院 麻酔科					

③集中治療専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- 2年目より集中治療専門研修施設にて通算1年以上研修いただくことで、麻酔科専門医取得後は集中治療専門医の取得も視野にいた研修が可能。
- 希望者はクローズドな集中治療管理を行っており、集中治療専門研修施設に認定されている当院集中治療部やさいたま医療センターで研修が可能。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科						聖マリア病院					
3年	飯塚病院 麻酔科						自治医科大学附属さいたま医療センター					
4年	飯塚病院 麻酔科											

④ペインクリニック専門医養成コース

<研修の内容・特徴>

- ペインクリニック専門医が在籍しており、専門医取得に向けた指導が可能
- 日本ペインクリニック学会指定研修施設である『九州大学病院』でペインクリニックに関する研修することでペインクリニック専門医申請資格の一部を満たすことができる。
※臨床医として6年以上の経験があり、次の(1)(2)いずれかの資格を有する者。
(1) 一社)日本ペインクリニック学会指定研修施設において5年以上の研修を行った者。
(2) 日本専門医制評価・認定機構基本領域の専門医（日本麻酔科学会認定麻酔科専門医など）の資格を有し、その研修期間中またはその後に本学会指定研修施設で1年以上ペインクリニックに関する研修を行った者。

<研修モデル>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院 麻酔科										
2年	飯塚病院 麻酔科						飯塚病院緩和ケア科					
3年	九州大学病院						飯塚病院 麻酔科					
4年	飯塚病院 麻酔科											

研修施設群の概要と指導医

■基幹施設

①飯塚病院

□プログラム統括責任者：尾崎 実展

□専門研修指導医：

尾崎 実展（麻酔, acute pain service）、田平 暢恵（麻酔）

小西 彩（麻酔）、内藤 智孝（麻酔, 神経ブロック）

濱井 優輔（麻酔）、満田 真吾（麻酔）

□特徴：

当院は救命救急センター、福岡県総合周産期母子医療センターに認定されており麻酔科は超未熟児を除くほとんどすべての緊急手術に対応している。また地域がん診療連携拠点病院であり、幅広い悪性腫瘍の手術を行っているが肝胆膵手術、肺手術の症例数が特に豊富である。心身合併症センターを運営しており、精神疾患で周術期管理困難と思われる近隣患者の受け入れも行っている。

開心術、TAVI、大動脈手術（開胸・開腹およびステント留置）、重症下肢虚血血行再建など心臓血管外科領域での幅広い手術を行っており、心臓血管麻酔専門医認定施設である。

□麻酔科管理症例数：4,294 症例

■専門研修連携施設 A

①地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院

[麻酔科認定病院番号：第 205 号]

・研修実施責任者：水野 圭一郎

・専門研修指導医：

水野 圭一郎（麻酔、集中治療）、泉 薫（麻酔）、住吉 理絵子（麻酔）

藤田 愛（麻酔）、賀来 真里子（麻酔）、小柳 幸（麻酔）、

天本 啓介（麻酔）

・特徴：

サブスペシャリティとしての小児麻酔を月 30～50 例のペースで集中的に経験できる。新生児を含む小児全般の気道・呼吸・循環管理の実践的な研修が可能。また、地域周産期母子医療センターであり、超緊急を含む帝王切開や内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼などの周産期手術も経験できる。外科・整形外科・泌尿器科・産科の手術では硬膜外麻酔・神経ブロックを積極的に用いている。急性痛治療にも力を入れており、麻酔科主導で

硬膜外鎮痛やPCAを管理している。先天性心疾患の手術件数・成績は国内トップレベルを誇り、研修の進達度に応じて複雑心奇形の根治手術・姑息手術の麻酔管理の担当も考慮する。

②九州大学病院 [麻酔科認定病院番号：第8号]

・研修実施責任者：山浦 健（麻酔、集中治療、ペインクリニック）

・専門研修指導医：

山浦 健（麻酔）、東 みどり子（麻酔）、辛島 裕士（麻酔）、
神田橋 忠（麻酔）、牧 盾（麻酔、集中治療、救急）、
前田 愛子（麻酔、ペインクリニック）、白水 和宏（麻酔、集中治療）、
住江 誠（麻酔）、山本 美佐紀（麻酔）、松下 克之（麻酔）、
梅原 薫（麻酔）、崎村 正太郎（麻酔）、大澤 さやか（麻酔、集中治療）
土井 浩義（麻酔）、福德 花菜（麻酔、緩和ケア）、信國 桂子（麻酔）
水田 幸恵（麻酔）、浅田 雅子（麻酔）、十時 崇彰（麻酔）、
田口 祥子（麻酔）、富永 昌周（麻酔）、佐々木 翔一（麻酔）
高橋 慶多（麻酔、集中治療）

・専門医：

安藤 太一（麻酔、集中治療）、高森 信乃介（麻酔、集中治療）
河野 裕美（麻酔）

・特徴：

九州大学病院は、全国でも最大規模の手術症例数を持っている。特に移植手術（心臓・肝臓・腎臓・膵臓等）や特殊な心臓手術（先天性心疾患、経カテーテル的大動脈弁置換術）、ロボット手術等の症例数も多く、高度で専門的な麻酔の研修を行うことができる。また、集中治療・救急医療・ペインクリニック・緩和ケアなど、関連分野での幅広い研修を行うことができる。

③国立病院機構 九州医療センター [麻酔科認定病院番号：第697号]

・研修実施責任者：甲斐 哲也（麻酔、ペインクリニック）

・専門研修指導医：

中垣 俊明（麻酔）、吉野 裕子（麻酔）、虫本 新恵（麻酔）、
福岡 玲子（麻酔）、小林 祐紀子（麻酔）、岩松 有希子（麻酔）

・専門医：

小野 悦子（麻酔）、井ノ上 由香（麻酔）、仁田畑 和紀（麻酔）

・特徴：

外科系の全診療科を有し、麻酔科専門医に求められる全ての領域の麻酔を経験することができる。全身麻酔は全静脈麻酔を主体とし、速やかで質の高い

覚醒と術後嘔気の少ない良質な麻酔を目指しており、全静脈麻酔を多数経験することができる。術後鎮痛に配慮してエコーガイド下末梢神経ブロックを積極的に施行しており、対象症例も多いため、神経ブロックも多く経験することができる。術後 ivPCA を施行する患者も多く、そのコントロールへの関与も可能である。

④雪の聖母会 聖マリア病院 [麻酔科認定病院番号： 第 483 号]

・研修実施責任者：藤村 直幸（麻酔・救急・集中治療）

・専門研修指導医：

自見 宣郎（麻酔）、甘蔗 真純（麻酔）

漢那 朝雄（麻酔・救急・集中治療）中川 拓（麻酔）、

坂井 寿里亜（麻酔）、田邊 光和子（麻酔）、田中 麻衣（麻酔）

犬塚 愛美（麻酔）、高森 遼子（麻酔）、井手 朋子（麻酔）

・特徴：

当院の手術室は 15 室あり手術室の規模としては大きく、年間手術件数は約 9000 件、麻酔科管理症例は 5000 例を超えています。41 の診療科を標榜しており、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科医、移植外科、小児外科、形成外科など、様々な科の手術に対する麻酔を経験することができます。救命救急センターへは年間 10000 台を超える救急者の受け入れ実績があり、また総合周産期母子医療センターを併設しているため、緊急手術が必要な重症患者やハイリスク妊婦に対する麻酔管理も行っています。整形外科、呼吸器外科、小児外科手術に対しては、超音波ガイド下神経ブロックを併用し術後鎮痛をはかっており、幅広い研修が可能です。

⑤社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会福岡総合病院

[麻酔科認定病院番号： 第 1043 号]

・研修実施責任者：吉村 速（麻酔）

・専門研修指導医：

倉富 忍（麻酔）、阿部 潔和（麻酔）、牛尾 春香（麻酔）

八田 万里子（麻酔）

・特徴：

済生会福岡総合病院は、病床数 380 床、手術室 9 室（うち 1 つはハイブリッド手術室）、年間手術症例数 4000 件の福岡市の中心天神地区に位置する中規模急性期総合病院である。第 3 次救命救急センターを有しているため、緊急症例が多く、全手術件数の 20%以上が緊急手術で、胸腹部大動脈破裂・頭部外傷・消化管穿孔・多発外傷等の緊急手術に 365 日 24 時間対

応している。また、ハイブリッド手術室では、TAVI・TEVARをはじめとする経カテーテル手術も全身麻酔科下に積極的に施行しており、難易度の高い術式や循環器系の重症合併症を有する患者の手術症例が多く施行されている。さらに、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県災害拠点病院に指定されており、地域の医療の一翼を担っている。

⑥佐賀県医療センター好生館

[麻酔科認定病院番号： 第 393 号]

- ・ 研修実施責任者： 三浦 大介
- ・ 専門研修指導医：
 - 三浦大介（麻酔、心臓血管麻酔、小児麻酔、区域麻酔）
 - 小杉寿文（緩和ケア、ペインクリニック）、三溝慎次（集中治療）、
 - 田代直規（麻酔）、諸隈明子（麻酔）、古賀美佳（集中治療）、
 - 弓場智子（麻酔、緩和ケア）、久保麻悠子（麻酔、緩和ケア）、
 - 馬場麻理子（麻酔、心臓血管麻酔）
- ・ 専門医：
 - 森永智子（麻酔）、宮崎春菜（麻酔）、野口洋（麻酔）、草場真一郎（麻酔）
- ・ 特徴：

県内の中核病院であり、幅広い手術麻酔の経験でき、手術件数が多いため豊富な麻酔経験ができる。小児外科があり、小児麻酔の経験が多くできる。緩和ケア病棟を併設しているため、緩和ケアの研修が充実している。

⑦京都大学医学部附属病院 [麻酔科認定病院番号： 第 4 号]

- ・ 研修実施責任者： 江木 盛時
- ・ 専門研修指導医：
 - 江木 盛時（麻酔、集中治療）、田中 具治（麻酔、集中治療）、
 - 溝田 敏幸（麻酔）、甲斐 慎一（麻酔、集中治療）、
 - 川本 修司（麻酔、ペインクリニック）、瀬尾 英哉（麻酔、集中治療）
 - 加藤 果林（麻酔）、辰巳 健一郎（麻酔、集中治療）、
 - 松川 志乃（麻酔、心臓血管麻酔）、橋本 一哉（麻酔、集中治療）
 - 武田 親宗（麻酔、集中治療）、廣津 聡子（麻酔、集中治療）
 - 池浦 麻紀子（麻酔）
- ・ 専門医：
 - 大嶋 圭一（麻酔）、山田 瑠美子（麻酔、心臓血管麻酔）、
 - 白木 敦子（麻酔）

・特徴：

すべての外科系診療科がそろい、数多くの症例の麻酔管理を経験することができる。肝移植、肺移植、人工心臓植込み手術、経カテーテル大動脈弁留置術、覚醒下開頭術などは他院では経験することが難しい手術であり、経験豊かな指導医のもとでこれらの特殊な手術の麻酔管理を修得することができる。集中治療部研修では、重症患者の全身管理を身につけることができる。

⑧産業医科大学病院 [麻酔科認定病院番号：第184号]

・研修実施責任者：堀下 貴文

・専門研修指導医：

堀下 貴文（麻酔）、寺田 忠徳（麻酔、ペインクリニック、緩和医療）、
濱田 高太郎（麻酔）、岡田 久乃（麻酔）、竹下 利奈（麻酔）、
武末 美幸（麻酔）、森脇 邦明（麻酔）、橋本 航（麻酔）、
蒲地 正幸（麻酔、集中治療）、古賀 和徳（麻酔、ペインクリニック）
原 幸治（麻酔、ペインクリニック）

・特徴：

産業医科大学病院は、北九州唯一の特定機能病院として高度医療を提供し続けており、地域がん診療連携拠点病院としても地域において重要な役割を担っている。また、手術症例は多岐にわたっており、ほぼ全ての外科系手術の麻酔管理の研修が可能であり、と球腫疾患患者の手術も多いため、質の高い教育を提供することができる。

⑨地域医療機能推進機構九州病院

[麻酔科認定病院番号：第257号]

・研修実施責任者：吉野 淳

・専門研修指導医：

芳野 博臣（麻酔）、織田 寛子（麻酔）、新庄 英梨子（麻酔）、
永松 華奈子（麻酔）、松本 恵（麻酔）、今井 敬子（麻酔）
水山 有紀（麻酔、集中治療）

・特徴：

北九州市西部を中心に遠賀・中間地域や直方・鞍手地域の地方急性期医療を担っている。超低出生体重児から超高齢者まで、さらに成人先天性心疾患合併妊婦やハイリスク妊婦、循環器や呼吸器系に重篤な合併症を抱えた患者も受け入れている。

特に小児循環器科では九州北部・山口から広域に患者を受け入れており、手術症例も多い。このため、先天性心疾患手術はVSDから単心室・複雑心奇形

まで多彩である。成人心臓手術も多岐にわたり、弁膜症や冠動脈バイパス手術、急性大動脈解離や大動脈破裂など心臓血管専門医に必要な症例は全てカバーできる。JB-POTを有するスタッフは現在6名在籍しており、手厚い指導体制で後期研修をサポートする。ハイブリッド手術室での、ASD/PDAカテーテル閉鎖術や動脈瘤のステント手術、弁置換手術のTAVIも積極的に行われている。

また、地域周産期母子医療センターを併設しており、胎児診断を元に産婦人科・新生児科・麻酔科がチーム医療と相互サポート体制で計画的に治療を行い、周産期の産科麻酔・新生児麻酔の研修体制をバックアップする。

6歳未満の麻酔症例数は553例（2020年度）であり、小児麻酔認定医への症例数は十分である。安全・安心な周術期管理を第一としつつも、末梢神経ブロック積極的に併用し、こどもたちにも多角的鎮痛により良好な鎮痛を目指している。

■専門研修連携施設 B

①自治医科大学附属さいたま医療センター

[麻酔科認定病院番号：第961号]

・専門研修指導医：

讃井 将満（麻酔、集中治療）、大塚 祐史（心臓麻酔、救急医療）、
飯塚 悠祐（麻酔、集中治療）、佐藤和香子（麻酔、ペインクリニック）、
松野 由以（麻酔、ペインクリニック）、
瀧澤裕（緩和ケア、ペインクリニック）
吉永 晃一（心臓麻酔、集中治療）

・専門医：

仲富 岳（麻酔・医学教育）、高橋 京助（心臓麻酔）、
宮澤 恵果（小児心臓麻酔）、北島 明日香（小児麻酔、産科麻酔）、
渡部 洋輔（麻酔、集中治療）、網谷 静香（心臓麻酔）、
大木 紗弥香（心臓麻酔）、千葉 圭彦（心臓麻酔）

特徴：

手術室では、心臓大血管手術、呼吸器外科手術を数多く経験出来ます。また、重篤な併存症を有する患者の麻酔管理を行う機会も豊富です。

独立型ICUでは、幅広い疾患の患者管理を経験することが出来ます。特に機械的補助循環（ECMO、IMPELLA、IABP、CRRTなど）の管理、重症呼吸不全の呼吸管理を、数多く経験出来ます。

救命救急センター、ICU、麻酔科は、密接に連携しており、合同カンファレンスも行われています。

麻酔科専門研修の経験目標および研修方法

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために研修期間中に別途資料「麻酔科専攻医研修マニュアル」に定められた経験目標の達成を目指していただきます。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

多職種による専攻医評価

年度ごとに多職種（手術部看護師長、集中治療部看護師長、臨床工学技師長、担当薬剤師）による専攻医の評価について、文書で研修管理委員会に報告し、次年度以降の専攻医への指導の参考とします。

専攻医の評価・修了判定について

年に2回、『専攻医研修実績記録フォーマット』を用いて『プログラム管理委員会』にて研修状況を評価し、専門医認定の申請年度（専門研修終了時あるいは以後）に修了判定を行います。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

専門研修管理委員会の運営計画

研修プログラムは、プログラム統括責任者のもとで、各施設の研修責任者で構成される専門研修管理委員会によって、定期的に評価、改善される。委員会は年に2回の開催を基本とする。

地域医療への対応

本研修プログラムでは当院を含め地域医療の中核病院と連携している。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は基幹病院だけではなく地域での中小規模の施設においても麻酔指導医の監督のもと麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

各連携施設では十分な指導医の数と指導体制が整っているが、指導体制が十分でないと感じられた場合は専攻医は、研修プログラム統括責任者に対して直接、文書、電子媒体などの手段によって報告することが可能であり、それに応じて研修プログラム統括責任者および管理委員会は研修施設およびコースの変

更、研修連携病院からの専門研修指導医の補充、専門研修指導医研修等を検討する。

専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

専門研修の中止、中断、移動については『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧ください。

定員と研修期間について

定員：2名/年

研修期間：4年間